

# 健康総合計画案に意見を

## 保健医療福祉未来図会議でも研修

陸前高田市

陸前高田市内外の保健・医療・福祉関係者が参加して議論を重ねる市保健医療福祉未来図会議は22日、市役所で行われた。この日は、市がまとめた健康総合計画案（平成28～35年）に盛り込まれている内容を確認。同案は現在、パブリックコメント（意見募集）を行っており、29日（金）まで受け付けている。



未来図会議は、東日本大震災後に同市にかかわってきた保健・医療・福祉関係者が一堂に会し、震災翌月の平成23年春以降月1回程度のペースで開催。通算62回目、本年度10回目、今年に入ってから初開催で、この日は約30人が参加した。冒頭、市民生部の伊藤真基健康推進課長は「これまでも未来図会議では計画に関する議論がされており、分かりやすい言葉で示そうとキャッチフレーズも付けた」などあいさつし、計画案は年度内に策定予定であること

各関係者が一堂に集まり、計画案に盛り込まれた各種指針・目標を確認。高田町も示した。引き続き、市側から計画案について説明。表紙には「はまっぴん」だっぴんがっぴん、みんなで輝く陸前高田」と添えられている。目指す姿として「健康寿命の延伸」「個別の疾病予防」の達成を掲げる。さらに、全体目標には▽誰もが、一生（ずーっと）、幸せと生きがいを感じられるまちづくり▽世代間の「はまかた」が進むまちづくり——を挙げた。

「はまかた」は「はまっぴん」の略で、住民がさまざまな場所に気軽に寄りかかると、会話を弾ませる社会づくりを目指すもの。基本的な方向として、社会参加による元気と健康づくり、子どもを産み育てやすいまちづくりにも言及している。こうした目標や方向性に基づき、世代別の目標や取り組みのポイント、市や住民、地域における各取り組み方針なども添えた。さらに地区別計画として矢作、横田、竹駒、気仙、高田、米崎、小友、広田各町別の健康データや現状と課題、それに基づき健康づくりに向けた対策もまとめている。

会議では、案の中で示されている食育推進計画などの説明も行われた。会議では今回の計画に意見を反映できる最後の機会とあって、出席者は熱心な表情で案に目を通していた。

意見募集は書式自由で、郵送、ファクス（55・61118）やメール（kenko@city.riku-zentakata.iwate.jp）を受け付ける。計画書

は市ホームページや市役所健康推進課で閲覧できる。問い合わせは健康推進課保健係（TEL 54・21111）内線242）へ。